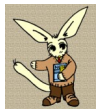


たても の とくちよう
山梨県立図書館の建物の 特徴

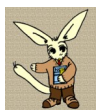


かいすう 階数	○	ち か かい ちじよう かい 地下1階、地上4階建
高さ	○	19.59m
ひろ 広さ	○	のべめんせき 延床面積 10,555㎡
	○	けんちくめんせき 建築面積 3,638㎡
	○	しきめんせき 敷地面積 4,530㎡

たても の とくちよう
建物の 特徴

- 本や雑誌などが見られる「閲覧エリア」と、イベントスペースや交流ルームなどがある「交流エリア」に分かれていて、仕切りなくつながっています。
- 1階は子どもの本、2階は大人の本と多目的ホール、3階は静かな環境で勉強や読書をするための部屋、サイレントルームがあります。地下には書庫があります。
- 屋上に太陽光発電パネルを置き、自然エネルギーを使っています。
- 壁面に植物を植え、日よけをつけて日差しをさえぎり、建物の温度が上がらないようにしています。
- わかりやすい案内表示の工夫や多目的トイレ、外が見えるシースルータイプのエレベーターの設置など、ユニバーサルデザインに配慮した「どこでも、誰でも、自由に、使いやすい」図書館です。

じどう
山梨県立図書館の児童資料コーナー



えほん かんらんしゃ
絵本の観覧車

- 職員がおすすめする絵本を載せています。

○ティーンズコーナー

- 中学生・高校生に向けて、2～3カ月ごとにテーマを変え、展示をしています。

○りんごの棚

- 「点字つき絵本」「大きな文字の本」「布の絵本」など、バリアフリー図書を集めたコーナーです。りんごのマーク  が目印です。

○おはなし会

- 毎月、日を決めて、1階よむよむスペースで職員がおはなし会をしています。
- よちよちおはなし会は0～2歳向け、とことこおはなし会は3歳～小学生向けです。おすすめ絵本の読み聞かせや、わらべうた・手遊びをします。



りんごの棚

こ ばん
子ども版

としょ かん しょうらん
図書館要覧

図書館要覧

はっこう れいわ ねん がつ
発行：令和6年7月

山梨県立図書館



じどうしりよう えほん かんらんしゃ
児童資料コーナー 絵本の観覧車

れきし
図書館の歴史や図書館ではたらきについてジッポ
が教えるよ。
ひみつ しら
図書館の秘密も調べてみよう。



やまなしけんりつとしょかん れきし 山梨県立図書館の歴史



- 1900(明治33)年 現在の山梨県立図書館のもとになる図書館ができました。(山梨教育会 附属図書館)
- 1931(昭和 6)年 前の年に新しく建った山梨県教育会附属図書館が山梨県に贈られ、県立図書館となりました。
- 1951(昭和26)年 甲州文庫(＝江戸時代から昭和時代の初めの山梨県の社会や暮らしの様子がわかる貴重な資料)が贈られました。(2005年に山梨県立博物館へ移しました。)
- 富士吉田分館が開館しました。(その後、西八代分館が1953年、中巨摩分館が1954年、塩山分館が1955年に開館し、1984年に地元市町に移しました。)
- 1953(昭和28)年 自動車文庫「みどり号」で移動図書館を始めました。(1988年に終わりました。)
- 1970(昭和45)年 甲府市丸の内に新しい県立図書館が開館しました。
- 1985(昭和60)年 故梅村紫声さんが持っていた映画関係の貴重な資料が贈られました。
- 1993(平成 5)年 コンピュータで本を探したり、貸し出したりできるようになりました。
- 1999(平成11)年 県立図書館のホームページを開きました。
- 2012(平成24)年 甲府市北口に地下1階、地上4階建ての新しい県立図書館が開館しました。図書館の中に、子どもの読書活動を進める「山梨県子ども読書支援センター」ができました。
- 2016(平成28)年 公式X(旧Twitter)・Facebookを始めました。



やまなしけんきょういっくかいふくせくとしょかん
山梨県教育会附属図書館



じどうしゃふんこ ごう
自動車文庫みどり号



まるのうち まえ としょかん
丸の内にあった前の図書館

山梨県立図書館のあれこれ

◆◆ 図書館の利用状況 (令和5年度) ◆◆

入館者数 693,688人
(1日あたり2,065人)

登録者数 7,650人

貸出点数(個人) 358,258点
(1日あたり1,066点)

貸出点数(団体) 13,019点

◆◆ 図書館利用カードを作る ◆◆
名前、住所、生年月日を確認められる保険証、マイナンバーカードなど(コピー・画像可)を持ってきてください。

◆◆ 借りられる数と期間 ◆◆
図書・雑誌 10冊まで 15日間
視聴覚資料 3点まで 8日間
電子書籍 3冊まで 15日間

しごと 山梨県立図書館の仕事



- ☆館長 図書館の中心となる責任者です。言語学者の金田一秀穂氏。
- ☆副館長 館長を助けます。
- ☆次長 副館長を助け、予算(お金)や建物に関するを取りまとめます。
- ☆司書幹 図書館で働く司書をまとめます。
- ☆総務企画課
- ・総務担当：予算(お金)の管理や、建物の管理をします。
 - ・企画振興担当：①図書館同士の本の貸し借りなどのやりとりを支えます。②図書館で働く人が勉強する会、講座やイベントを開きます。
- ☆資料情報課
- ・資料担当：本や雑誌、DVDなどを選んで買い、図書館資料として登録します。
 - ・情報システム担当：図書館のパソコンやホームページを管理します。
- ☆サービス課
- ・調査サービス担当：①本の案内や調べもの手伝いをします。②図書館にない本を探したり、別の図書館から借りたりします。
 - ・子ども読書推進担当：①子どもの本の案内や調べもの手伝いをします。②おはなし会をします。③子どもの読書に関わる大人を支えます。
- ☆指定管理者
- ①施設(建物、駐車場)の管理や掃除をします。
 - ②総合案内で、施設の案内や交流ルームなどの貸出をします。
 - ③イベントを開きます。

やまなしけんりつとしょかん しりょう 山梨県立図書館の資料



- 口図書(718,826点) 大人向けの「一般図書」、子ども向けの「児童図書」、外国語で書かれた「外国語図書」と、「紙芝居」などがあります。
- 口逐次刊行物(271,935点) 「雑誌」のように、一定の期間ごとに同じタイトルで発行されるものを、逐次刊行物といいます。「新聞」「研究紀要」「市町村広報」も逐次刊行物です。
- 口視聴覚資料(9,657点) 「DVD」のような映像資料、「CD」のような音声資料を視聴覚資料といいます。
- 口特殊資料(39,927点) インターネットを利用し貸出しする「電子書籍」などがあります。

※すべてあわせて 1,040,345点 (令和6年3月31日現在)

◆◆ 昔の貴重な資料 ◆◆
江戸時代から明治時代にかけて刊行された木版刷りの和装本「漢籍・国書」や、明治時代の地図、甲府市出身で、昭和初期に活動弁士として活躍した梅村さんが生涯をかけて収集した映画関係資料のコレクション「梅村紫声文庫」など昔の貴重な資料があります。デジタル化して県立図書館のホームページから見られるようにしているものもあります(山梨デジタルアーカイブ)。